

社会資本総合整備計画

〔中心市街地の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくり(第2期)〕

事後評価シート(原案)

令和4年11月

(鹿児島県 鹿児島市)

計画の名称	中心市街地の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくり（第2期）																															
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）				交付対象	鹿児島市																										
計画の目標	<p>◆九州新幹線的全線開業効果を持続・拡大し、本市がさらに発展していくためには、陸の玄関口である鹿児島中央駅周辺や、北の玄関口である鹿児島駅周辺等において、中心市街地の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくりを推進し、駅周辺等の拠点地区の活性化を図り、中心市街地の更なる活性化につなげる必要がある。</p> <p>◆鹿児島中央駅周辺では、中央町19・20番街区において、良好な都市景観の創出、快適な回遊拠点などを一体的に整備する市街地再開発事業を推進するとともに、その効果をより高めるため複合施設整備を推進する。</p> <p>◆鹿児島駅周辺地区では、「かんまちあ」の整備等により地区の新たな賑わいが生まれてきたが、交通結節機能が脆弱で利用者の利便性や安全性が低く、鉄道による市街地分断により地区の一体性や回遊性が乏しいことから、鹿児島市の北の玄関口として交通結節機能の強化や回遊性のある歩行者空間ネットワークの形成を推進するとともに、駅前の再開発を推進する。</p> <p>◆中心市街地の中心に位置するいづろ・天文館地区においては、歩行者通行量が漸減傾向にあることから、公共が主体となってまちなかに集客効果の高い施設を整備するとともに、かごしまを感じさせる歩行空間の整備と歩行者ネットワークの形成を進め、駅周辺との回遊性を高める。また、千日町1・4番街区では、南九州随一の繁華街である天文館にふさわしい観光と商業の新たな拠点を整備する市街地再開発事業を推進するとともに、併せて再開発ビル内にさらなるにぎわいの創出を図る広場及びホールを整備し、中心市街地全体の活性化につなげていく。</p>																															
計画の成果目標（定量的指標）	<p>① 中心市街地の土日の歩行者通行量を159,060人/日から174,050人/日に増加</p> <p>② 中心市街地の入込観光客数を7,981千人/年から8,400千人/年に増加</p> <p>③ 鹿児島駅前停留場の利用者数を1,197人/日から1,450人/日に増加</p>																															
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H30当初)</th> <th>中間目標値 (R2末)</th> <th>最終目標値 (R4末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 中心市街地（※）の土日の歩行者通行量</td> <td>159,060人</td> <td>—</td> <td>174,050人</td> <td rowspan="3">※現況地は、鹿児島中央駅地区10地点、いづろ・天文館地区20地点、鹿児島駅周辺地区4地点の34地点、目標値は、鹿児島駅周辺地区の自由通路（1地点）を追加し35地点とする。</td> </tr> <tr> <td>② 中心市街地の入込観光客数</td> <td>7,981千人</td> <td>—</td> <td>8,400千人</td> </tr> <tr> <td>③ 鹿児島駅前停留場の日当たり乗降客数（ICカード利用件数に基づく推計値による）</td> <td>1,197人</td> <td>—</td> <td>1,450人</td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)	① 中心市街地（※）の土日の歩行者通行量	159,060人	—	174,050人	※現況地は、鹿児島中央駅地区10地点、いづろ・天文館地区20地点、鹿児島駅周辺地区4地点の34地点、目標値は、鹿児島駅周辺地区の自由通路（1地点）を追加し35地点とする。	② 中心市街地の入込観光客数	7,981千人	—	8,400千人	③ 鹿児島駅前停留場の日当たり乗降客数（ICカード利用件数に基づく推計値による）	1,197人	—	1,450人
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																												
	当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)																													
① 中心市街地（※）の土日の歩行者通行量	159,060人	—	174,050人	※現況地は、鹿児島中央駅地区10地点、いづろ・天文館地区20地点、鹿児島駅周辺地区4地点の34地点、目標値は、鹿児島駅周辺地区の自由通路（1地点）を追加し35地点とする。																												
② 中心市街地の入込観光客数	7,981千人	—	8,400千人																													
③ 鹿児島駅前停留場の日当たり乗降客数（ICカード利用件数に基づく推計値による）	1,197人	—	1,450人																													
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	15,561百万円	A	15,561百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0%																				

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島市公共事業評価検討委員会（内部）での審議 鹿児島市事業評価監視委員会（外部）での審議 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年11月 公表の方法 ホームページへの掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H30	H31	R2	R3	R4		
A10-001	都市再生	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	いづろ・天文館地区都市再生整備計画事業	都市再構築戦略事業・約40ha	鹿児島市						1	
A10-002	都市再生	一般	鹿児島市	間接	民間	いづろ・天文館地区都市再生整備計画事業	都市再構築戦略事業・約40ha	鹿児島市						76	
A10-003	都市再生	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	鹿児島駅周辺地区（第2期）都市再生整備計画事業	約22ha	鹿児島市						2,822	
A16-004	住宅	一般	鹿児島市	間接	組合	中央町19・20番街区市街地再開発事業	約0.7ha	鹿児島市						5,308	
A16-005	住宅	一般	鹿児島市	間接	組合	千日町1・4番街区市街地再開発事業	約1.0ha	鹿児島市						5,588	
A13-006	都市交通	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	鹿児島駅前停留場整備都市・地域交通戦略推進事業	約0.06ha	鹿児島市						589	
A16-007	住宅	一般	鹿児島市	間接	民間	中央町16番街区暮らし・にぎわい再生事業	約0.3ha	鹿児島市						200	
A16-008	住宅	一般	鹿児島市	間接	民間	浜町1番街区優良建築物等整備事業	約0.6ha	鹿児島市						366	
A16-009	住宅	一般	鹿児島市	間接	民間	千日町1・4番街区暮らし・にぎわい再生事業	約1.0ha	鹿児島市						611	
合計												15,561			

B 関連社会資本整備事業 (該当なし)															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H30	H31	R2	R3	R4		
										合計	0				
C 効果促進事業 (該当なし)															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H30	H31	R2	R3	R4		
										合計	0				
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業 (該当なし)															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H30	H31	R2	R3	R4		
										合計	0				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況											
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			<ul style="list-style-type: none"> 令和3年6月のライカ1920開業や4年4月のセンテラス天文館開業などにより、新たなにぎわい拠点が創出され、来街者の増加につながっている。 4年3月の鹿児島駅周辺基盤整備完了により、鹿児島島の北の玄関口にふさわしい都市景観が形成され、歩行者の安全性や利便性などが向上した。 								
II 定量的指標の 達成状況	指標① 中心市街地の土日の歩行者通行量	最終目標値	174,050人	目標値と実績値に 差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外出機会が減少したことなどにより目標値の85%となったが、ライカ1920やセンテラス天文館の開業などにより4年度は3年度と比べ16%増加しており、コロナが収束すれば、その効果の継続などもあり1年以内の達成が可能と考える。 						
		実績値	147,124人 (令和4年10月)								
	指標② 中心市街地の入込観光客数	最終目標値	8,400千人								
		実績値	4,218千人 (令和3年度)								
	指標③ 鹿児島駅前停留場の日当たり乗降客数	最終目標値	1,450人								
		実績値	1,261人 (令和4年4～9月)								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)			<ul style="list-style-type: none"> かんまちあ、駅前広場、自由通路、上本町磯線の一体的な整備により、浜町1番街区や上本町磯線沿道の新たな民間投資につながった。 ライカ1920やセンテラス天文館の整備などにより、にぎわいとゆとりある都市空間の創出などが図られ、本市のイメージアップにつながった。 								
3. 特記事項 (今後の方針等)											
<ul style="list-style-type: none"> 民間のまちづくり活動のさらなる充実によるにぎわいの創出などを図るため、まちづくり団体等に対し、国の制度を活用しながら支援を行っていく。 鹿児島中央駅から天文館、本港区、さらに鹿児島駅までのエリアにおいて、公共空間などを活用した新たなにぎわいや憩いの空間を創出することで、歩いて楽しめるまちづくりを推進する。 											